

労働安全衛生マネジメント（OSHMS）とは？

事業者が労働者の協力の下に「計画(Plan)－実施(Do)－評価(Check)－改善(Act)」の一連の過程を定めて、
 →継続的な安全衛生管理を自主的に進めることにより、
 →労働災害の防止と労働者の健康増進、さらに進んで快適な職場環境を形成し、
 →事業場の安全衛生水準の向上を図ることを目的とした安全衛生管理の仕組みです。

こんな方（工場長、安全管理者、担当者）にぜひ、おすすめです。

- 最近、安全衛生活動がマンネリ化している。
- OSHMSを導入したがうまく機能していない。
- 実際に、OSHMSを実践している会社の成功事例、活動内容について話を聞きたい！
- OSHMSの実施企業の担当者や情報共有、いろんな質問をしたい！

今回の研修会では、株式会社ホンダロック様の全面協力のもと、労働安全衛生マネジメントシステムの取り組みについてご説明させていただきます。

研修内容は、OSHMSの（１）概要説明、（２）事例の紹介、（３）取組への実践について行いますので、工場等責任者、安全衛生責任者様には必見です。ぜひ、ご参加ください!!

～9月8日（金）開催!! 佐土原地区安全衛生協議会 研修会（一部抜粋）～

1/15

宮崎県佐土原地区安全衛生協議会

労働安全衛生マネジメントシステム勉強会
(OSHMS…Occupational Safety and Health Management System)
労働 安全 衛生 マネジメント システム

2017年9月8日（金）
株式会社ホンダロック

4/15

2. 労働安全衛生マネジメントシステム運用・定着に向けて

(1) 労働安全衛生マネジメントシステムとは

事業者が労働者の協力の下に「計画→実行→評価→改善」という一連の過程を定めて、労働災害の防止、健康の増進、快適な職場環境を形成し安全衛生水準の向上を図ることです。

○ 必要性
 事業者が安全衛生に関する責任を果たすためには、事業場における安全衛生管理を、生産・品質・環境管理とともに取り入れ、日常活動の中で適正かつ効率的に行う必要があります。

法遵守型
関係法令を守りさえすればよい

変化
↓

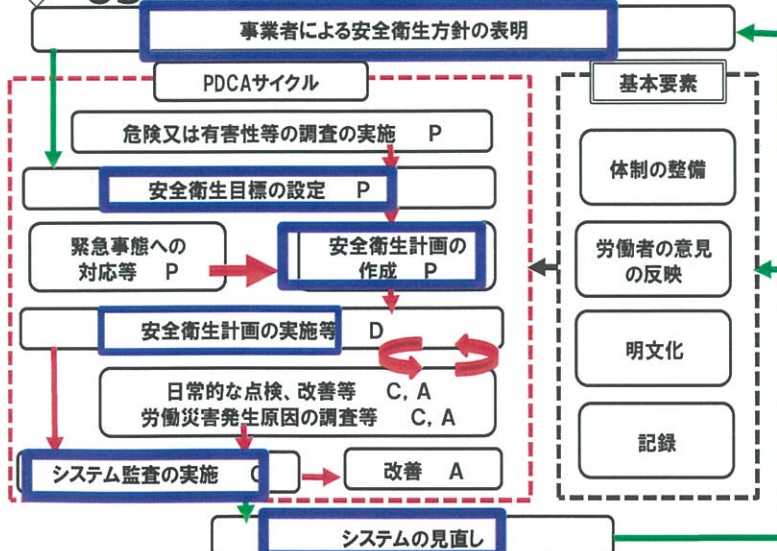
自主対応型
自ら安全衛生管理に努める

経営者トップの安全衛生方針に基づき、安全衛生活動のPDCAを全員で回し安全衛生水準の向上を図っていく仕組みである。

（目次）

1. DVD視聴・・・「労働安全衛生マネジメントシステムのあらまし(20分)
2. 労働安全衛生マネジメントシステム運用・定着に向けて
3. トップによる安全衛生方針の表明
4. OSHMSフロー図
5. OSHMS内部監査フロー図
6. 総括安全衛生計画書目標値の考え方（★課題反映）
7. 総括安全衛生計画書
8. OSHMS内部監査注意点
9. OSHMS内部監査フロー図
10. OSHMS定着に向けた課題
11. 内部監査演習

OSHMSのフロー図



OSHMSの展開内容

①	経営者トップ自ら安全衛生方針を表明し充実化を図る。
②	日常安全衛生活動の取り組み体制を整備する。
③	危険性又は有害性等を調査し災害を防止する。 (リスクアセスメント;継続実施)
④	目標達成に向け一元化した安全衛生活動計画書を作成する。
⑤	全員で一元化した安全衛生活動計画書に基づき活動する。
⑥	活動状況を新規内部監査メンバーにより調査し評価・改善を図る。
⑦	システム化した内容を評価し見直す機能を整備し安全衛生水準のレベルアップを図る。